一般社団法人日本口腔顔面痛学会　理事立候補届出書

2017年6月15日

日本口腔顔面痛学会選挙管理委員会
委員長　和嶋浩一　殿

私は、2017年－2019年度日本口腔顔面痛学会理事選挙に立候補します。

氏名（自著）	嶋田昌彦
所属・職位	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科・教授
抱負	学会では、理事や倫理委員会、利益相反委員会、シラバス委員会などの委員長を務め学会活動を行ってきました。2014年には第19回日本口腔顔面痛学会学術集会の大会長を務めました。シラバス委員会では、歯学部学生における口腔顔面痛学とその治療の教育を標準化するためにシラバスの素案を作成いたしました。アミトリプチリンの保険導入に対しては今村理事とともに努力してきました。また、正しい薬物療法を行うために講習会で座長や講演などを行いました。今後も口腔顔面痛に関する研究や診療、教育について、学会の先生方と一緒に貢献できるように努力していきたいと考えております。学会の皆様には、今後ともよろしくお願いいたします。

立候補者履歴書

年	月	学　歴　大学卒業以降
1980	3	東京医科歯科大学歯学部歯学科卒業
1984	3	東京医科歯科大学大学院歯学研究科　修了　博士（歯学）取得
		職歴
1993	10	岡山大学　教授　（歯科麻酔科）
2004	4	岡山大学医学部・歯学部附属病院　副病院長
2006	4	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授（疼痛制御学分野）
2008	4	東京医科歯科大学歯学部附属病院長（2017年3月まで）
2015	12	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授 （口腔顔面痛制御学分野）

専門医等の資格、特記すべき学会活動

2009年　4月　理事、評議員
2011年　10月　指導医、専門医、認定医
2012年　4月　副理事長　倫理委員会委員長
2014年　　第19回日本口腔顔面痛学会学術集会大会　会長
2015年　4月　利益相反委員会委員長、倫理委員会委員長
2016年　4月　シラバス委員会委員長
シラバス委員会にて歯学部学生における口腔顔面痛学とその治療の教育を標準化するためにシラバスの素案を作成
12月　神経障害性疼痛関連歯科学会合同シンポジウム
新規保険収載薬アミトリプチリンの使用について　座長
2017年　4月　口腔顔面痛キャンプ in　京都　講師
「薬物療法のための心電図の基礎知識」